

学校・社会に 人権の風を!

～「君が代」裁判と卒・入学式から考える～

5.18 Fri. 鶴 赤

18:30～エルおおさか研修室2

次々と暴かれる改さん・隠ぺいがアベ改憲の行先づ先を示している

アベは日本会議などの極右の強力な支持のもとで、「アベノミクス」での見せかけの好景気（実態は独占資本と一部富裕層の大儲け）やナショナリズムの扇動の中で、5度の選挙での「勝利」で「一強」体制を維持してきました。さらに秘密保護法・安保法・共謀罪等々を次々と強行成立。同時に過去最高の軍事予算のみならず「敵基地攻撃能力」をも持つ兵器と組織編制を持つに至っています。

命令に従うのが教員の本分との戦前回帰の判決

さらに「日の丸・君が代」強制（幼・保から大学へも。軍産学の癒着とも一体で）、教育勅語を教材とすることの是認、そして道徳教育の教科化（20年には高校での「公共」新設も）等々、愛国心とナショナリズムの教育が、教師の率先垂範のもとで推し進められようとしています。森友学園がアベと維新（松井知事）のもとで神道系小学校を設立しようとしたのは偶然ではなく、まさに彼らが望む教育がそこにあったからに他なりません。しかしこれらに反対の声が行政内部からも起こり、国会内外の追及の闘いの中で真実が明らかにされつつあります。

ところが大阪での司法の現況は、「『君が代』不起立・戒告処分取消し」共同訴訟地裁判決（3・26）や再任用拒否撤回訴訟高裁判決（3・28）等の判決（「自己の教育上の信念等を優先させて、あえて式典の秩序に反する特異な行動に及んだもので、厳しい非難に値する」「学校の規律や秩序の保持の観点から問題があるとして、（再任用不合格を）判断したことは、やむを得ない」）が示すように、戦前回帰というしかないものです。

モリカケ解明、改憲反対・アベ打倒の闘いと連帯し「戦争する国」と対決を

これに対してZAZAメンバー（「君が代」不起立被処分者）は控訴・上告で闘いの継続を表明しています。そして昨年の梅原さんの再任用にあたっての「国歌斉唱時の起立斉唱」の職務命令に従うかどうかの意向確認は違反質問との追及の中で、府商工労働部の府教委への改善要請も引き出し、意向確認の文言の改変と今年の奥野さんの再任用合格を勝ち取っています。

また今春卒業式でも、少なくとも3名の「不起立」があり、4月25日には、梅原さんの再任用拒否国賠訴訟第1回法廷（11時～地裁809）等の闘いが新たに開始されています。これらの闘いは、「戦争する国」への根幹の1つである教育支配と真っ向から対峙するものであり、また憲法に保障されているはずの「思想良心の自由」等の基本的人権の侵害を許さない闘いでもあります。

モリカケの真相究明や改憲反対・アベ打倒の取組みと連帯し、今後の取組みの方向を確認して前進するための集いにしたいと思います。共に闘いましょう。

- ☆今年の卒・入学式の状況
- ☆戒告処分取消共同訴訟・再任用拒否撤回訴訟・佐藤さん戒告減給訴訟の各弁護団よりの報告
- ☆ZAZAメンバーよりの決意表明
- ☆連帯アピール
- ※資料代 500円

「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク

FAX: 06-6942-2444 Mail: hinokimiosk@yahoo.co.jp HP: http://www7b.biglobe.ne.jp/~hotline-osaka/